

# 熊本地震 ボランティア日記(3) 西原村・益城町編

第3回目の報告は、西原村、益城町、南阿蘇村での活動です。  
南阿蘇村では新見さんと合流し、2日間一緒に活動しました。(報告は日記(4)に譲ります)  
崩落した阿蘇大橋の近く、南阿蘇村黒川地区では特に被害は大きく、ほとんどの家屋が倒壊状態でした。まだまだ支援の必要性を感じました。

6月3日(金) 晴れ 西原村 農業ボラ 男5人 報告:武方 秀俊

9:05AM 西原村ボランティアセンターに到着

しかし、本日は8:50で災害ボランティアの受付は終了とのこと がっくり・残念

でも、農業ボラがありました 男5人で参加 迎えに来ていた農家の方の車で山間部の集落へ



西原村ボランティアセンター 全景



その一角に「農場復興ボランティア」の受付がありました 本日はこれに参加



山間部のにんにく畑にしゃがみこんで収穫

9:30~14:30の収穫作業 日陰も無く 農業は大変です



収穫したにんにく(これは収穫の一部)



屋根のブルーシートが目立ちます  
農家も大きな被害に遭っていました

にんにくの収穫・・・これは災害ボラではなく、単なる生活支援ではないのか？ 最初はそう思いましたが、依頼主の方の家も住めない状態に！ 生活の目途が立たない状況のなかでも、収穫をしないと畑がダメになるとの話。これは立派な災害ボランティアと認識しました。



6月6日(月) 晴れ 西原村 AM 民家瓦片付け 男9人  
PM 集落の石積擁壁の目地補強 男9人、女1人

7:15AM 西原村ボラ専用駐車場に到着  
先日の轍を踏まない様に 4:05に自宅を出発



専用駐車場 滋賀県社会福祉協議会からのボラグループ21人が大型バスで到着していました



7:20ボラセン前 まだ開門していません  
この後すぐに開門



8:30 受付開始



何故か名古屋ナンバーのトイレ車両が4台



8:58 マッチング  
男9人で民家の落下瓦の片付け作業



すぐにグルーピング  
リーダーを決めて送迎車両で出発  
依頼者宅が近かったので、9:15作業開始

瓦片付け作業は2時間程で終了、そのあと依頼主から庭に放置された伐採木の片付けの要望がでる  
これは災害支援ではないが、みんなで協議のうえ、要望に応えることにする  
それでも午前中に終了したので、昼食後ボラセンで再マッチング、  
午後から、山間部の集落の石積擁壁の補強作業(目地のモルタル詰め)に入る(男9人、女1人)



午後から



石積擁壁の目地補強 既に地元の方5人で作業をしていたが、午後からボラ10人が合流  
15:26 補強作業完了 梅雨前の対応が必要でした



送迎車を待つ間に、近くの「白糸の滝」見物へ

西原村は7日、9日はボラセン休止、 需要の掘起こしに社協スタッフで地元回りとのこと



6月7日(火) 晴れ 益城町 民家の宅内片付け 2棟 男6人、女4人

7:12AM 益城町ボランティアセンターに到着



8:30から受付開始



8:45 オリエンテーション  
マッチングのあと、民家へ

益城町では依頼者宅までの交通手段は、もっぱらボランティアからの車両提供に期待

益城町終了後、ミルクロードを経て大分県竹田市へ、 本日は「道の駅原尻の滝」で車中泊

6月8日(水) 竹田ベースキャンプにて新見さんと合流・・・以下、日記(4)へ